

町田市子どもマスタープラン
次世代育成支援行動計画
町田市子ども読書活動推進計画

町 田 市
2004年（平成16年）12月

目次

第1章 計画策定にあたって	1
1. 計画策定の背景と目的	2
2. 計画の位置づけ	3
3. 計画期間	3
第2章 町田市の子どもをとりまく状況	5
1. 町田市の子どもと家庭	6
第3章 計画の基本的な考え方	13
1. 基本理念	14
2. 基本的な視点	14
3. 基本目標	15
4. 施策の体系	16
第4章 重点目標・個別目標と今後の取り組み	19
基本目標 子どもが健やかに育ち 一人ひとり自分の中に光るものを持っている	
重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、 主体的に参加し意見表明できる	21
個別目標(1) コミュニケーション能力を育てる	21
個別目標(2) 参加と意見表明の場や機会をつくる	23
個別目標(3) 救済とやり直しの場や機会を保障する	28
重点目標2 大人になっていく力をつける (市民性の形成を育む)	30
個別目標(1) 乳幼児期の養護の充実	30
個別目標(2) 幼児教育の充実	31
個別目標(3) 学校教育の充実	33
個別目標(4) 思春期の子どもの心と身体 の健康教育	35
個別目標(5) 体験活動から学ぶこと (文化・スポーツ活動等)	38

基本目標 子どもが安らいでいる家族があり、
家族が地域とつながっている

重点目標 1	親になる力を身につける	4 2
個別目標 (1)	親スタート期を支える	4 2
個別目標 (2)	子育て期を支える	4 5
個別目標 (3)	男女共同の子育てを進める	4 9
個別目標 (4)	親の悩みを支える	5 0
重点目標 2	親が働くことを支える	5 5
個別目標 (1)	保育支援	5 5
個別目標 (2)	サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実	5 9
重点目標 3	きめ細やかな支援が必要な家族を支える	6 0
個別目標 (1)	障がいのある子どもと家族への支援	6 0
個別目標 (2)	ひとり親家族への支援	6 3
個別目標 (3)	外国籍家族への支援	6 5
個別目標 (4)	被虐待児童 (DV 家族児童を含む) と家族への支援	6 8

基本目標 子どもが地域の中で大切にされている

重点目標 1	人と人が関わりつなげる場をつくる (家庭・施設・学校・地域・行政の協働)	7 0
個別目標 (1)	地域の人材育成と人材活用	7 0
個別目標 (2)	地元事業所・商店の関わり	7 3
個別目標 (3)	体験できる場 (多様な体験ができる機会を増やす)	7 4
個別目標 (4)	交流できる場 (子どもや子育てをしている人がふれあい 情報交換できる場を増やす)	8 1
個別目標 (5)	子どもセンター、地域子育てセンターを 中心とした地域づくり	8 2
重点目標 2	一人ひとりに情報が確実に届く	8 8
個別目標 (1)	子どもと親への情報の確保	8 8
重点目標 3	みんなで安全・安心のまちをつくる	9 0
個別目標 (1)	子どもの安全・安心の確保	9 0
個別目標 (2)	子育てしやすいまちづくり	9 2

第 5 章 次世代育成支援特定 14 事業に係る目標事業量 9 5

第 6 章 計画の推進に向けて 1 0 7

1 . 新規事業一覧	1 0 9
2 . 子どもを対象とした事業一覧 (2004 年度)	1 1 2
3 . 町田市子ども読書活動推進計画	1 2 6

< 資 料 >

1 . 町田市子どもマスタープラン策定体制	1 3 6
2 . 町田市子どもマスタープラン審議会	1 3 7
3 . 町田市子どもマスタープラン庁内検討組織	1 4 3
4 . 町田市子どもマスタープランアンケート調査	1 4 6
5 . 町田市子ども憲章	1 4 7
6 . 用語解説一覧	1 4 9

はじめに

21世紀を迎え、少子高齢化による人口構造の変化や核家族化・都市化の進展による地域における人と人とのつながりの希薄化など、子どもを取り巻く社会環境は変化しつづけています

町田市では2000年3月策定の「子育て・子育て支援計画」や同年6月の“子どもの総合計画”の必要性についての町田市青少年問題協議会からの提言を受け、子どもや子育てに関することを市の重要施策の一つと位置づけて様々な施策を進めてまいりました。

一方、国では、今日の少子化社会に対応するために2003年7月に「次世代育成支援対策推進法」を設置し、法に基づく行動計画の策定を市町村に義務づけました。

言うまでもなく、子どもたちは世代間のバトンを未来に向け受け継いでいく社会にとってかけがえのない存在です。それゆえに、一人の市民として十分にその人権や個性が尊重されなければなりません。

こうしたことをふまえて、この度「町田市子どもマスタープラン」を策定いたしました。“子どもが自分らしく安心して暮らせるまちをみんなで創り出す”という本プランの基本理念の実現に向け、地域・企業・行政などが一体となって推進する環境づくりをすすめてまいります。

昨今、厳しい財政状況が続いておりますが、市ではこれからも誰もが“町田で育ってよかった”“町田で育ててよかった”と実感できるまちづくりを市民の皆さまと進めてまいります。

最後になりましたが、本プラン策定にあたり、貴重な意見や提言をいただきました町田市子どもマスタープラン審議会並びに関係団体の皆さま、そしてアンケート調査にご協力いただいた多くの市民の皆さまに深く感謝申し上げます。

また、子どもマスタープラン子ども委員会に参加して、子どもたち自身の意見を調査しまとめていただいた高校生、中学生の皆さんにも心からお礼申し上げます。

2004年12月

町田市長 寺田和雄

町田市子どもマスタープラン策定にあたって

町田市では、これまでも教育や福祉・保育の場で子どもや子育てについての理念や方針について、丁寧に議論され、障がい者や社会教育、保育、子育て支援施策で全国をリードする新しい視点での取り組みがおこなわれてきました。

しかし、子どもたちや子育て家庭を取り巻く状況は急激に変化し、心身ともに安心して生存・発達する権利すら奪われる子どもが増加している状況にあります。

こうした状況の中で、子どもや親たちの実態調査をもとに、子どもには「生きる力」親には「子育てする力」地域には子どもが主体になることができる「支援の仕組み」をつくる方策を考えたのがこの計画といえます。

多くの方々のご尽力により、これまでの既存の方法を超えた取り組みを進めてきました。市内の中高生による「子どもマスタープラン子ども委員会」を組織化し、子どもの意見反映を実現しました。3つの専門部会と全体会(審議会)との連動により、様々な角度からのきめ細かな議論をすすめました。行政と民間事業者との意見交換により、公と民の新しい可能性が作られてきました。そして、次のような特徴ある施策の方向性を示すことができました。

1. 子ども参加マニュアルと評価システムづくり
2. 多様な待機児童解消(緩和)策
3. 子どもセンター5館設置
4. 子ども自身からの相談・救済の仕組みづくり
5. ひとり親家庭の総合的施策の検討
6. 楽しい子育てを共有する「かっこいい父さん紹介事業」

子どもが健やかに育ち、子育てが楽しくできるまちは、人もまちも輝き、希望があふれるまちです。

地域の人たちが子どもの育ち・子育てに興味を持ってくださり、安全・安心な地域と、主体的な子ども、主体的な市民を育てる町田をみんなで創り出していきましょう。

最後に、この計画が円滑に実現されることを願い、今後の推進体制の整備と事業の力強いスタートを見守っていきたいと思っています。

2004年12月

町田市子どもマスタープラン審議会会長
東洋大学社会学部社会福祉学科教授
森田明美